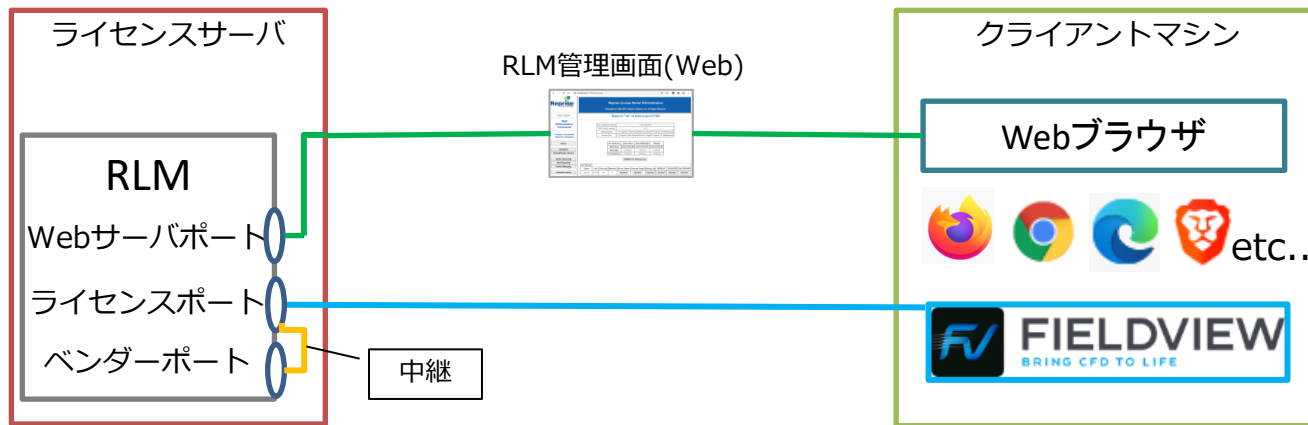


- FieldViewのライセンスマネージャー（RLM）のサービスが使用するポートは以下の3つです。
  - Webサーバポート** : 5054 (デフォルト) RLM Web server port
  - ライセンスポート** : 27100 (デフォルト) RLM server port
  - ベンダーポート** : 27101 (デフォルト) ISV server port } ライセンスファイルに記述

RLMサービスが使用する3つのポートのイメージ

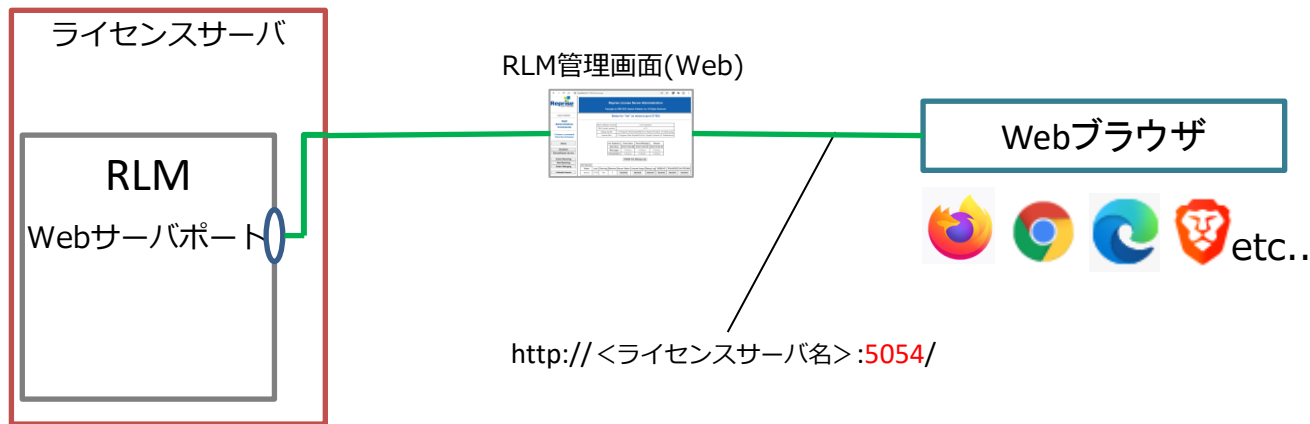


## 1. **Webポート** : **5054** (デフォルト) RLM Web server port

- RLM管理画面アクセス用のポート番号です。

※RLMはWebブラウザを利用して動作を管理しており、その管理画面へのアクセスには専用のポート番号（デフォルト：**5054**）を使用します。

- RLM管理画面のURL : `http://<ライセンスサーバ名>:5054/`
- 製品ごとにその製品専用のRLMサービスを設定したい場合は、以下のFAQをご参照ください。
  - 「FAQ : IN042 他のRLM利用アプリケーションとRLMサービスを分ける方法」



2. **ライセンスポート** : **27100** (デフォルト) RLM server port
  - RLMのライセンス認証用ポート番号はライセンスファイルに記載されています。
  
3. **ベンダーポート** : **27101** (デフォルト) ISV server port \*ISV = Independent Software Vendor
  - RLM管理下でソフトウェアのベンダーが使用するポート番号もライセンスファイルに記載されています。

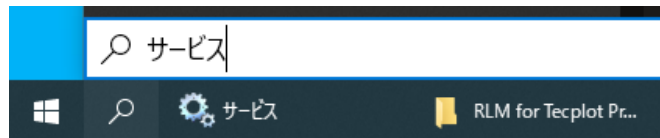
# コメント行

HOST <サーバ名> <MACアドレス> <ライセンスポート番号>

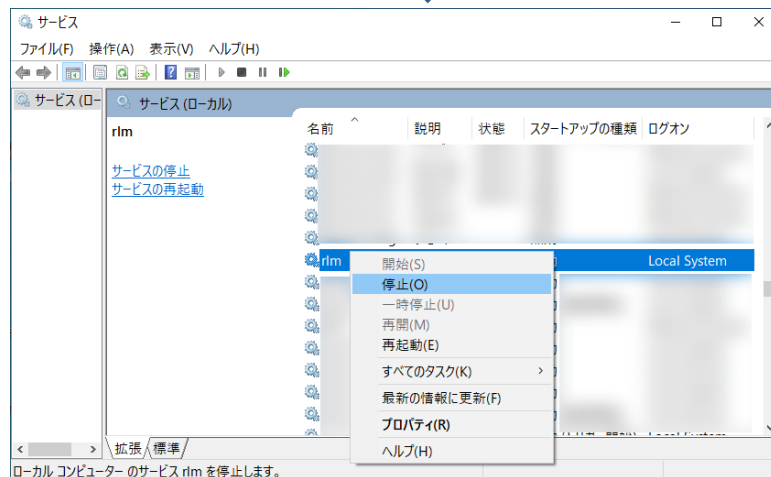
ISV teclmd teclmd teclmd.opt port=<ベンダーポート番号>

LICENSE teclmd fv XX.x <ライセンスの期限> <ライセンス数> max\_roam=<最大ローミング数> customer= <ID>  
k0" options=64 \_ck=\*\*\*\*\* sig="XX  
XX"

▲ライセンスファイル内の「ライセンスポート番号」と「ベンダーポート番号」



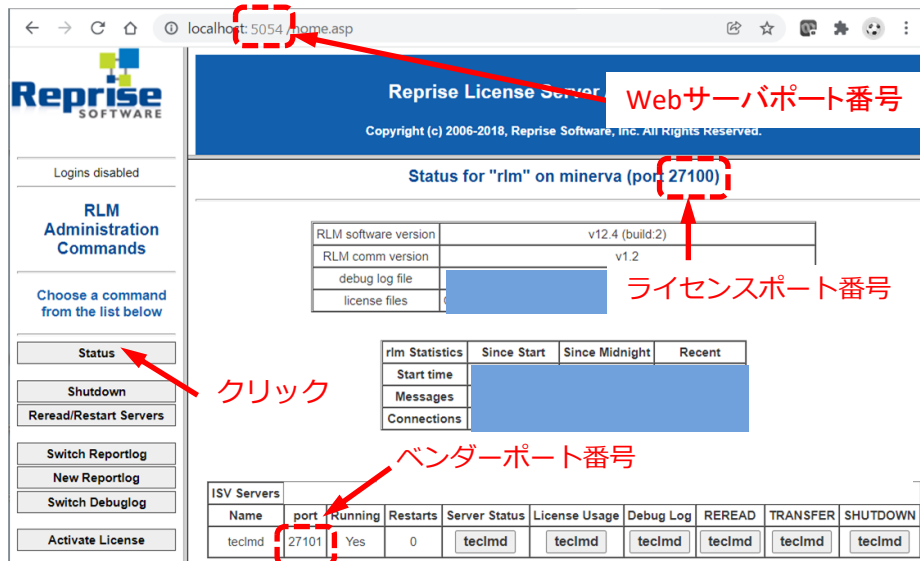
▲Windowsの検索機能から「サービス」を起動



▲「サービス」画面

- ・ 「ライセンスポート」と「ベンダーポート」のポート番号を変更する方法
  1. Windowsの「サービス」を開き、FieldViewを管理しているRLMサービスを選択します。  
(サービス名: 「rlm」または「FieldView RLM License Manager」)
  2. 右クリックで「停止」します。
  3. ポート番号を変えたライセンスファイルをRLMフォルダの所定の場所に置きます。
  4. RLMサービスを右クリックして「開始」します。

5. <http://localhost:5054/>または  
[http:// <ライセンスサーバ名> :5054/](http://<ライセンスサーバ名>:5054/)  
にアクセスします。
6. ライセンスマネージャーRLMのWeb管理画面のサイドメニューから Status（ステータス画面）を開くと、左のようにRLMが使用する3つのポート番号が確認できます。



Webサーバポート番号

Status for "rlm" on minerva (port: 27100)

RLM software version	v12.4 (build:2)
RLM comm version	v1.2
debug log file	
license files	

ライセンスポート番号

クリック

ベンダーポート番号

ISV Servers		Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	TRANSFER	SHUTDOWN
Name	port								
tecimd	27101	Yes	0	tecimd	tecimd	tecimd	tecimd	tecimd	tecimd

▲ライセンスマネージャーRLMのステータス画面